

おひらき

特定非営利活動法人 京都舞台芸術協会

●ミッション

「舞台芸術、個と個を繋いで大きな動き」

●代表者

特定非営利活動法人
京都舞台芸術協会
理事長 柳沼昭徳



●設立年月日

平成14年6月24日

●わたしたちの活動

特定非営利活動法人京都舞台芸術協会は、京都で演劇や舞踊、パフォーマンスなど舞台芸術全般に関わる創作環境や、発表環境をよりよくするために実演家たちによって1990年代から緩やかに形成され、2002年に特定非営利活動法人となった組織です。

組織、といつと少し固いイメージがありますが、芸術家が100人集まれば同じ数だけの異なる作品性や方法論、価値観が存在するので、交

流をしないで
おこうと思え

ばしないで済んでしまう人々が、自分の作品のことはひとまず横に置いて、共通して抱える悩みや問題を解決するために膝を突き合わせて話してみようじゃないかと集まったのがその始まりです。

ここで協会発祥とも言える稽古場問題をご紹介します。京都舞台芸術史上1990年代と言えば、京都在住の劇作家が戯曲賞を続けて受賞するなど、全国的に注目された、いわば豊作期に当たりますが、創作環境はと言つと発展途上、貴重な稽古場だった青年の家(現在の青少年活動センター)は常に飽和状態、利用の抽選にもれた劇団やダンサーたちは大学構内に忍び込んで稽古したり、時には御所や船岡山公園や鴨川の河川敷で稽古したり…。そんなお世辞にも恵まれているとはいえない状況を打開しようつと、実演家が一人ひとり声を掛け合つて集まり、そして運動を行ったことによつて、明倫小



愛知県芸術文化振興事業団との交流企画「AAFリージョナル・シアター 2002～愛知と京都 Vol.2～」
撮影=安井豊彦

学校跡の京都芸術センター設立をはじめとする創作環境の整備へと実を結びました。初めは個人の小さな声だったものがつながつて連帯することで大きな力となり、やがて行政や社会をも動かす、この原体験は、10年以上たった今でも協会の礎として息づいています。

現在、京都の舞台芸術シーンは協会のみならず様々な人や組織の創意工夫と努力によつて国際的に認知されるまでに成長を遂げています。あらかたの環境が整つて久しい今、京都舞台芸術協会ではさらなる可能性を見出すため、ダンスと演劇、京都と他都市、若い世代と中堅世代、舞台芸術と社会、初心者と熟練者といったよつにジャンルや場所や年齢など立場の異なる人同士の垣根を越えた出会いの場づくりに取り組み続けています。はじまりがそつであったよつに、これからも私たちは個と個をつなぎ躍動する媒介でありたいと考えています。



交流会の様子

住所 〒600-8127 京都市下京区梅湊町 83-1
京都市市民活動総合センターメールボックス No.47
URL <http://kyoto-pa.org/>